

「青年経営者の主張」県大会で「福岡県知事賞」を受賞

7月21日(水)に行われた、福岡県商工会青年部連合会が実施している「青年経営者の主張」福岡県大会で、小林孝昭さんが「福岡県知事賞」を受賞されました。

「青年経営者の主張」は、地域のリーダーとしての意識の高揚をはじめ、若手経営者・後継者としての資質の向上を図り、地域活性化に資することを目的として毎年開催されています。



▲福岡県知事賞を受賞した小林孝昭さん(右から3番目)と宇美町商工会青年部の皆さん

町出身作家8273(ヤツナミ)さんの本を寄贈していただきました

寄贈していただいた「くっくんのプレゼント」は、作者である8273(ヤツナミ)さんの前職である子ども靴デザイナーの経験をもとに作成した絵本で、物語に沿って靴の正しい履き方が学べる内容になっています。ぜひこの機会に、お子さんと楽しく靴の履き方を学んでみてはいかがでしょうか。

8273(ヤツナミ)さん

町出身のクリエイター。株式会社ムーンスターの靴デザイナーを経て、渡英。現在は宇美町を拠点に活動。



▲コーナーの様子



▲絵本「くっくんのプレゼント」

東京2020パラリンピック開催に向けて『宇美町の火』を東京へ

8月14日(土)、イオンモール福岡で『東京2020パラリンピック聖火リレー聖火フェスティバル〜糟屋郡合同採火式〜』が行われました。

この採火式は、糟屋郡7町の独自の手法で採火された火を持ち寄り、地域への愛着と障がい者スポーツの促進および共生社会の実現という思いを込めて、ひとつの『かすやの火』として採火し、県に送り出すものです。

町では、宇美町スポーツ少年団や、町出身のデフサッカー日本代表 松元卓巳さんの協力のもと、総合スポーツ公園で、まい切式火起こし器で火種をとり、町の発展を支えた石炭に点火し、『宇美町の火』を採火しました。

当日は、大雨特別警報で開催予定だった式典は中止となり、各町の職員のみでの採火となりましたが、屋内で競技用車いすの展示や、障がい者スポーツのPRブースなどが設置されました。

町での採火の様子をYouTubeにアップしています。右の二次元コードからご覧ください。



▲スポーツ少年団による火起こしの様子



▲糟屋郡7町の火がひとつの『かすやの火』になる様子

日本少年野球大会でベスト4

宇美中学校3年生4人が所属する福岡志免ボーイズが、7月17日(土)に行われた第52回日本少年野球選手権大会福岡県南部予選で見事優勝し、8月2日(月)からの全国大会に出場しました。

全国大会では、全国制覇を果たした神奈川支部代表の湘南ボーイズに準決勝で敗れましたが、チーム初のベスト4という快挙を成し遂げました。

また、2年生以下の第11回ジュニア大会においても優勝し、宇美中学校2年生の井上幸輝さんがピッチャーで活躍しました。

その他の結果

- ・第17回ミズノ旗争奪日本少年野球九州選抜 大会 優勝
- ・第1回佐伯ベースボールカップ 優勝



▲竹山大翔さん、竹山功悠さん、北海秀太さん、南里真太郎さん



▲竹山功悠さん(宇美中)



▲井上幸輝さん(宇美中)